



一般質問

第1回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党



倉重 徹議員

質問1

ペットを守るマイクロチップ導入の条例化

犬や猫の「殺処分ゼロ」に不可欠なマイクロチップ導入の条例化と、導入を促進する助成制度の創設をすべき。

答弁

犬猫のマイクロチップ義務化について検討中の動物愛護管理法改正の動向を注視しつつ、費用助成も含めて取り組む。



質問2

市動植物園へのVR（仮想現実）導入

動植物園の誘客策として、臨場感と迫力ある動物たちの映像が楽しめるVRを導入しては。

答弁

VRの導入については、新年度に予定している現在地移転50周年記念事業の中で試験的に実施できないか検討する。

市民連合



田尻 将博議員

質問1

新元号改元の自治体への影響は

日本の元号は平成まで247あり5月1日に改元されるが、改元に伴う市政業務への事前準備、職員研修の徹底を。

答弁

新元号移行に向け、証明書・納付書等のシステム改修を進めている。元号の取り扱いは、全職員に周知徹底し、円滑な移行に努める。

質問2

「新森の都」を本市のキャッチフレーズに！

熊本駅周辺整備、熊本城ホール等の完成も間近である本市を全国にPRするため、都市像のキャッチフレーズ設定を。

答弁

「上質な生活都市」を都市像として掲げており、さらなる周知を図るとともに、国内外に向け広く発信していく。



共産党



那須 円議員

質問1

国民健康保険料の引き下げ実施を

政令市で最も負担の重い保険料により、3世帯に1世帯が保険料を払えない状況。国民健康保険料の引き下げを。

答弁

保険料値下げは、本市医療費が他都市と比べ高水準であること等から困難。今後も医療費適正化等に努め上昇抑制に取り組む。

質問2

さくらカードの利用促進を

高齢者の負担軽減、障がい者への無料おでかけパス券の復活等、使いやすい制度へと改善すべきでは。

答弁

庁内検討会議において、高齢者等の社会参加促進施策を総合的に整理する中で、今後の制度のあり方についてさらに検討を進める。



自由クラブ



北口 和皇議員

質問1

政令指定都市像について

政令市の長として、本市を、50年後、100年後にどのような都市にしようと思っているのか、その決意は。

答弁

政令市の権限財源を活用し、「上質な生活都市くまもと」の実現に取り組むとともに、県域全体の発展のけん引役としての役割を果たす。

質問2

財政運営について

市税を確保するにあたり、企業誘致や新規企業の創設等、働く場所の確保や所得の向上にどう取り組むのか。

答弁

企業誘致の推進、創業・起業支援、交流人口の増加策等の取り組みによって、働く場所の確保、所得の向上につなげていく。



地域創世



小池 洋恵議員

質問1

河川敷等地域資源は、地域で主体的に管理を

地域の防災や交流拠点の観点から、河川敷利活用への取り組み状況について、進捗状況と今後の見通しを尋ねる。

答弁

坪井川遊水地では、関係者で河川敷利活用や管理の検討を進めている。今後も地域と連携し、河川敷で憩い楽しむ取り組みを進めていく。

質問2

自主防災クラブ^(※3)の結成促進、育成、活動支援を

熊本地震発生時、自主防災クラブはどれくらい存在し、機能したのか。結成促進や育成、活動支援を願う。

答弁

自主防災クラブは、現在、市内の8割で設立されており、今後も結成時の資機材の現物支給や購入助成により結成促進を図っていく。



第1回定例会の概要

2/18～3/8 会期 19日間

- 2月18日 開会
 - ・提案理由説明
 - 2月19日 人口減少社会に関する調査特別委員会
- 2月20日～22日、25日 本会議
 - ・代表質問 ・一般質問（3日間）
 - 2月25日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 2月26日 予算決算委員会
 - ・総括質疑
- 2月28日 予算決算委員会分科会 部門別常任委員会
- 3月4日 厚生委員会、経済委員会
- 3月6日 予算決算委員会
 - ・分科会長報告 ・締めくくり質疑 ・表決
- 3月6日 総務委員会
- 3月8日 閉会
 - ・委員長報告 ・質疑、討論、表決

提出議案と議決結果

市長提案議案 106件…原案どおり可決106件、否決0件
議員提出議案 5件…原案どおり可決2件、否決3件
請願 1件…採択0件、不採択1件

主な議案の概要

- 平成30年度熊本市一般会計補正予算
 - <通常分の主な内容>
 - 公共施設長寿命化等基金積立金… 33億円
 - 障害者自立支援関連経費 …… 13億8,900万円
 - 施設型・地域型保育給付費 …… 8億3,190万円
 - <熊本地震関連分の内容>
 - 災害公営住宅整備事業 …… 7億7,901万2千円
- 平成31年度熊本市一般会計予算
 - <通常分の主な内容>
 - 本庁舎のあり方調査検討経費 …… 3,240万円
 - 窓口改革推進経費 …… 9,110万円
 - 客引き行為等対策事業 …… 2,090万円
 - LGBT等啓発経費 …… 120万円
 - 区のまちづくり推進経費 …… 1億円
 - 健康ポイント事業 …… 2,900万円
 - 保育料納入対策事業 …… 1,930万円
 - 東部堆肥センター管理運営経費 …… 1億1,060万円
 - 地方創生移住支援事業 …… 5,000万円
 - 熊本城ホール整備事業 …… 90億3,980万円
 - 鳥獣被害対策事業 …… 931万円
 - バス事業運行効率化支援経費 …… 500万円

- 市電路線延伸調査設計経費 …… 6,100万円
- 部活動指導員配置事業 …… 490万円
- <熊本地震関連分の主な内容>
 - 外国人避難対応施設機能強化経費 …… 695万円
 - 震災復興発信強化経費 …… 1,800万円
 - 各区復興支援自治推進経費 …… 5,000万円
 - 災害救援物資備蓄経費 …… 3,810万円
 - 「2019天守閣再建」熊本誘客プロジェクト経費 …… 5,000万円
 - 緊急輸送道路環境改善経費 …… 1億3,000万円
- 熊本市自治基本条例の一部改正について
 - <改正理由>
 - 危機管理に関する規定の拡充等をするため。
 - <改正内容>
 - 1 災害等に対する危機管理について次の規定を追加
 - (1) 市民は、日頃から災害等の発生に備えるとともに、災害等の発生時には、相互に助け合うよう努めること。
 - (2) 市民、市議会及び市長等は、協働により災害等からの復旧復興に取り組むこと。
 - 2 青少年・子どもの定義の変更
 - 「未成年」→「18歳未満」
 - <施行日>
 - 平成31年4月1日